

ミスミグループ本社 2016年3月期 第3四半期 連結業績

～ 四半期決算として過去最高の売上・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2016年3月期 第3四半期（2015年4月1日～2015年12月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2015年3月期 第3四半期累計	2016年3月期 第3四半期累計	増減率
売上高	151,546	177,626	+17.2%
のれん等償却前 営業利益 ※1	20,716	21,979	+6.1%
営業利益	19,081	20,078	+5.2%
純利益	11,816	12,988	+9.9%
1株当たり純利益 ※2	43.25円	47.37円	

※1 Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

※2 2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

前年同期についても期首に当該株式分割が行われたと仮定し数値を算定しています。

<2016年3月期 第3四半期累計の連結業績ハイライト>

1. 日本や中国における自動化需要の取り込みやVONA事業の積極展開等により、売上高・利益共に四半期決算としては過去最高を更新

- 第3四半期の日本経済は、アメリカの金融政策正常化や中国を始めとするアジア新興国の景気減速の影響などにより一部に弱さが見られましたが、全般的に緩やかな回復基調が継続しました。海外では欧米で緩やかな景気回復が続く一方、中国やアセアン地域では総じて緩やかな景気減速が続きました。
- こうした環境下、当社グループは、高品質、低コスト、確実短納期を実現するミスミQCTモデルの絶えざる進化に取り組んでいます。製造業の自動化需要の拡大や短納期ニーズの高まりを受け、受注・生産・物流のプロセス革新を図ることで、受注製作品の国内標準納期を3日から2日へ短縮するとともに、顧客に対して用途に応じた価格や商品のラインアップを拡充し、高い利便性を提供しました。さらに、事業の国際化に合わせたオペレーションレベルを向上させるため、EC基盤の強化にも取り組んでいます。FA事業においては、グローバル確実短納期化の加速と日本・中国・ベトナム3極生産補完体制の整備に向けて推進していたベトナム第4工場が竣工し、10月より生産を開始しました。また、地域ごとにミスミQCTモデルを磨き込み、生産材プロセス革新をグローバルで確実に推進するため、中国、アジア、欧州、米州の各地域企業体を設立いたしました。
- この結果、売上高は新たな自動化需要・金型需要を取り込んだFA事業や金型部品事業および積極的な営業展開を実施したVONA事業の成長が増収を牽引し1,776億円、前年同期比17.2%の増収となりました。

- 利益については、積極的な事業拡大に向けた人材強化やEC基盤拡充などの費用増加を売上の増加などで吸収し、営業利益は200億円（前年同期比+5.2%）、純利益は129億円（同+9.9%）となりました。

2. 全セグメントで2ケタ増収

- 2016年3月期 第3四半期累計のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

(百万円)	2015年3月期 第3四半期累計	2016年3月期 第3四半期累計	増減率
F A事業	72,848	82,009	+12.6%
金型部品事業	47,490	52,224	+10.0%
VONA事業	34,670	44,027	+27.0%
調整額（期ズレ等）	-3,463	-634	-
合計	151,546	177,626	+17.2%

- F A事業においては、新たな自動化需要の積極的な取り込みなどにより、日本や中国での販売拡大が寄与し、前年同期比12.6%の増収となりました。
- 金型部品事業は、主に中国や欧州における販売伸長により、前年同期比10.0%の増収となりました。
- VONA事業は、取扱いメーカー数の継続拡大により実現した生産間接材分野で最大の品揃えを武器に、積極的な販売拡大を推進した結果、前年同期比27.0%の大幅増収となりました。

3. 海外売上高比率は47.2%（前年同期比+1.2pt）に上昇

- 2016年3月期 第3四半期累計の海外売上高は838億円（同+20.3%、現地通貨ベース+8.8%）、海外売上高比率は47.2%（同+1.2pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高（百万円）		増減率	
	2015年3月期 第3四半期累計	2016年3月期 第3四半期累計	円ベース	現地通貨 ベース
日本	81,843	93,751	+14.6%	-
海外	69,702	83,875	+20.3%	+8.8%
中国	22,068	28,844	+30.7%	+13.5%
アジア	19,422	21,792	+12.2%	+6.3%
アメリカ	17,481	20,806	+19.0%	+2.8%
ヨーロッパ	7,977	8,924	+11.9%	+14.4%
その他	2,753	3,507	+27.4%	+9.8%

- 日本では、拡大する確実短納期ニーズに応えながら、自動車およびエレクトロニクス関連業界を中心とした需要増の取り込みやVONA事業での積極拡販に努めた結果、好調に推移しました。
- 中国においては、経済成長の鈍化傾向が強まる中、製造業の新たな自動化需要の積極的な取り込みもあり、堅調に推移しました。一方、アジアでは台湾やアセアン地域での景気減速、アメリカでは自動車用金型需要の低迷などにより、伸び率が弱含みました。

4. 2016年3月期連結業績は売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2016年3月期の通期連結業績については、2015年5月14日公表の業績予想からの変更はありません。

2016年3月期 連結業績予想（2015年4月1日～2016年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益※
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	242,000	27,100	27,100	16,900	61.67
前期実績	208,562	23,759	23,352	14,291	52.28
前期比	+16.0%	+14.1%	+16.0%	+18.2%	-

※2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

1株当たり純利益については、株式分割後の株式数（前期実績は期首に分割を実施したと仮定）で算定しています。

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2016年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2016年3月期 第3四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
--